OGUshow

200 系ハイエース S-GL
ES フリップベッド
取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
お取り付け、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
誤ったお取り付け、ご使用による事故等の責任は負いかねますのでご了承ください。

商品には万全を期していますが、万一、欠品または内容に相違がある場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。

有限会社オグショー
435-0006　静岡県浜松市東区下石田町 1841-1
TEL：053-421-0122　FAX：053-421-3686

ご注意ください

■すべての商品につきまして
・お取付けの際には、必ず取扱説明書をご覧の上、作業を行なってください。
・お取付け作業を行なう際には、軍手や長袖などで身体を保護し、十分に注意してください。
・作業を行なう際は、車両を水平な場所に移動させ、近くにガソリンなどの危険物や可燃物がない安全な場所で行なってください。
・重量物のお取付けの際には、何人かで慎重に作業を行なってください。
・ボルト・ナットの締め付け不良は、破損や部品の脱落などにつながる恐れがありますので、十分に注意して作業を行なってください。
・定期的に各部に異常がないかを確認してください。ボルト類などに緩みがないか確認し、定期的に増し締めを行なってください。
・故障の原因となりますので、指定された適合車両以外へのお取り付けは行なわないでください。
・走行中に異常が発生した場合は、走行を中止し、安全な場所に移動して異常個所の点検を行なってください。

■ベッドキットのお取扱いにつきまして
・走行中のベッドの使用は禁止されております。絶対に使用しないでください。
・ベッドを使用する前に、土台となるボックスやステーがしっかりと固定されていることを必ず確認してください。
・ベッドを使用する前に、マットがしっかりと固定されていることを必ず確認してください。その際、マットがずれて落下することがないよう注意してください。
・ベッドの上で飛び跳ねたり強い衝撃を与えると、破損や故障の原因となるので十分に注意してください。

■フックのお取扱いにつきまして
・フックをご使用になる前に、ボルト・ナット等の締め忘れがなく、しっかりと固定されていることを必ず確認してください。
・お客様ご自身による改造等は危険ですので行なわないでください。

■トレーのお取扱いにつきまして
・トレーをご使用になる前に、ボルト・ナット等の締め忘れがなく、しっかりと固定されていることを必ず確認してください。
・トレーに許容範囲以上の荷重をかけると破損や落下の危険がありますので、十分に注意してください。

※ 商品の仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

この取扱説明書では、車輌の年式に応じて、○型と表記しています。
下記をご確認の上、作業をおすすめください。
1 型：2004 年 8 月～（平成 16 年 8 月～）
2 型：2007 年 8 月～（平成 19 年 8 月～）
3 型前期：2010 年 7 月～（平成 22 年 7 月～）
3 型後期以降：2012 年 5 月～（平成 24 年 5 月～）

保証規定

１．取扱説明書、本添付ラベル等の注意書きに基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万が一故障した場合、無料にて故障箇所を当社所定の方法で修理させていただきますので、お買い上げ販売店、または当社サービス窓口に本保証書を添え、部品単体でご持参ください。修理を行なうために交換された旧部品、または機械の一部にはお返しできないものがあります。
２．本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
３．次のような場合には保証期間でも有料修理になります。
（１）本保証書のご提示がない場合
（２）本保証書に保証期間、お客様名、販売店名及び押印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
（３）ご使用中の交通事故等お客様の取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合
（４）お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障及び損傷
（５）火災、塩害、ガス害、地震、落雷及び風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障及び損傷。
（６）本製品に接続している機器及び消耗品に起因する故障及び損傷。
（７）正常なご使用方法でも消耗部品が自然消耗、劣化した場合。
（８）本製品を車両用以外の目的で使用した場合。
４．ご不明な点はお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください
５．本保証書は国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとに置いて無料保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限する物ではありません。

品　　名		200 系ハイエース ES フリップベッド
保証期間		ご購入日から 1 年間
お客様情報	ご住所	
	お名前	
	お電話番号	
※販売店・住所・電話番号		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご記入の有無をご確認ください。もし記入がない場合は、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保存してください。
※この保証書は、本書記載内容を無料修理を行なう事をお約束するものです。（上記に記載の保証規定をご覧ください）
※お買い上げの日から上記期間中、万が一故障が発生した場合、ご提示の上、お買い上げの販売店または当社サービス窓口に部品単体でご持参ください。
※持込修理（出張修理の場合、出張費用は有料）になります。

製品内容

運転席側マット　1 枚
※車種によってサイズ・形状が異なります

助手席側マット　1 枚
※車種によってサイズ・形状が異なります

フレーム脚　左右各 1 個

カラー 高さ 26mm 4 個
高さ 36mm 4 個
※ 1 型～ 3 型前期は高さ 26mm、3 型後期以降は高さ 36mm のカラーを使用します。
※車輌の細かな製造時期や個体差によっては、上記と限らない場合もありますので、実車にてご確認いただき、必要に応じて入れ替えてご使用ください。

M 6 皿ボルト（黒）
12 本

M8 ノブボルト
70mm4 本

M8 ワッシャー
4 枚

マット固定用ベルト
2 本
（ベッドマットに付属）

アダプタボルト
2 個
※ 3 型前期以前（リア 3 点式シートベルト非装着車）のみ

M6 低頭ボルト 16mm
2 本
※ 3 型前期以前（リア 3 点式シートベルト非装着車）のみ

M6 ワッシャー
2 枚
※ 3 型前期以前（リア 3 点式シートベルト非装着車）のみ

下地材（12mm 厚）
1700mm × 50mm　1 枚

ご用意いただく道具

ラチェット

12mm ソケット

14mm ソケット
※ 3 型前期以前（リア 3 点式シートベルト非装着車）のみ

エクステンション
ディープソケット
※あるとより便利な道具です。

電動ドリル・ドライバー

プラスドライバー 3 番

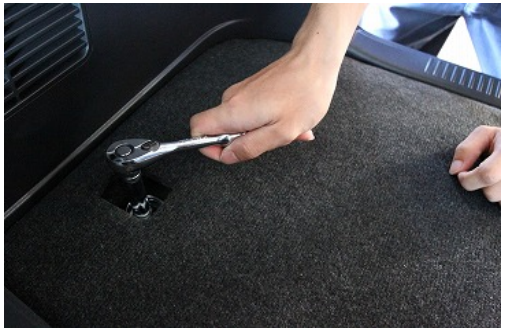
20 Φホールソー
※ 3 型前期以前（リア 3 点式シートベルト非装着車）のみ

3mm 六角レンチ
※ 3 型前期以前（リア 3 点式シートベルト非装着車）のみ

※別売りの ES フロアパネルとの同時装着も可能です。フロアパネルは必須ではありませんが、よりベッドが安定するため、同時装着をお勧めします。

ベッド取り付けの下準備

1. タイヤハウス前後（左右 4 箇所）にある純正フックを取り外します。まずカーペットをめくり上げ、内張り方向に押し込みます。



2. ラチェットと 12mm ソケットを使い、純正フックを取り外します。必要に応じて、エクステンションバーで延長するか、ディープソケットを使います。

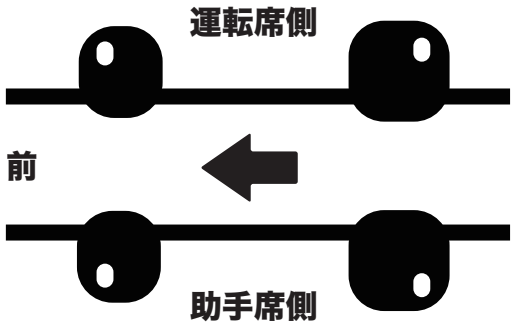
3. 純正フックを外した箇所に、フレーム脚を取り付けた際の沈み込みを防ぐためにカラーを置きます。その際、ボディのナット穴が隠れないようにします。

※ 1 型～ 3 型前期は高さ 26mm、3 型後期以降は高さ 36mm のカラーを使用します。

※車輌の細かな製造時期や個体差によっては、上記と限らない場合もありますので、実車にてご確認いただき、必要に応じて入れ替えてご使用ください。

4. ES フロアパネル R（別売）と同時装着される場合、ここでパネルを取り付けます。その際、パネルの穴位置と、ボディの穴位置が合っているかを確認します。

※ ES フロアパネルなどのパネルを取り付けされない場合、(40) ～ (44) の作業を行ない、純正フロアカーペットの下に、付属の下地材を入れます。



ベッドマットへのフレーム取り付け

5. 左右ベッドマットに、フレーム脚を取り付けます。左図を参考に、前後左右の方向に注意し、フレーム取り付け位置を確認します。

6. ベッドマットを裏返し、マット裏に取り付けられている蝶番の位置を確認します。マット一枚につき、3 箇所に蝶番が取り付けられています。

7. それぞれの蝶番には 3 箇所に穴があいていますが、両端の穴のみ使用し、中央の穴は使用しません。

8. 付属の M6 皿ボルト（黒）を使い、フレームを取り付けます。まず、ネジ山を壊さないように、手でボルトを回し、まっすぐ入っていることを確認した上で、プラスドライバーを使い固定します。

※まず仮固定とし、すべての蝶番を仮固定してから本締めします。

左右のマットを合計 12 箇所で固定します。

車両へのベッドの取り付け

9. まず、脚の付いている助手席側のベッドマットをボディに載せていき固定します。その際、マット裏側の折りたたみ脚を展開します。
※安全のため、必ず二人で作業します。

10. タイヤハウス前後の穴位置を利用し、フレーム脚の土台を固定します。付属の M8 × 70mm ノブボルトと M8 ワッシャーを使用します。ノブボルトを回し、まっすぐ入っていることを確認した上で締めて下さい。
※この時点では「仮固定」とします。

11. 運転席側のベッドマットも、同様の手順で固定します。すでに設置済みの助手席側のマットを一度上げ、左右のマットを山折りにしてからベットを下ろすと入れやすくなります。マットの縫い目（キルティング）を合わせて位置を調整します。

12. 3 本の脚のうち、中央の脚は長さを調節できるようになっています。ES フロアパネルの H 型モールの上に脚が載る場合など、必要に応じて長さを調節します。

マット固定用ベルトの取り付け（リア 3 点式シートベルト装着車）

※ 3 型前期以前（リア 3 点式非装着車）の場合、ピラー部にアダプタボルトを装着する必要があります。(13) ～ (21) の作業は行わず、(25) ～ (39) の作業を行ないます。

13. マット固定用ベルトを取付けるために準備します。まず外側の太いマジックテープを外します。

14. 内側の細いマジックテープの片側のみを剥がします。

15. 剥がしたマジックテープをバックルから外します。

16. この状態で取付けるための準備は整いました。

17. バックルから外した細いマジックテープを、3 点式シートベルトのボルト部分（シートベルトと内張りとの間）に巻き付けるように通します。

18. ベルトを上向きにした状態で、バックルから外した細いマジックテープを再度バックルに通します。

19. バックルに通したら、マジックテープをしっかりと固定します。

20. 最後に外側の太いマジックテープをしっかり巻き付けます。剥がれないことを確認して、固定用ベルトの取付けは完了です。

21. 取付けを行ったシートベルトがスムーズに動くことを確認してください。引っ掛かりがある場合は取付け直してください。

反対側のベルトも同じ方法で取付けます。

22. ベッドマットを収納します。ベッドを跳ね上げ、脚の付け根にあるレバーを下方向に押し、ロックを解除してからベッド脚を折りたたみます。

23. ベッドマット裏のベルトと固定用ベルトで、マットを固定します。この際、ベルトに緩みがないよう、ベルトの長さを調整します。

24. 左右のマットを跳ね上げてベルトで固定し、フレーム脚の土台を固定しているノブボルトをすべて本締めして完了です。

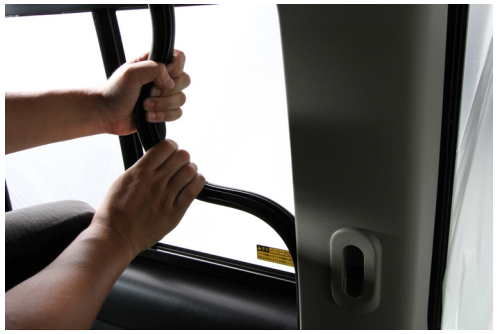
マット固定用ベルトの取り付け
（リア 3 点式シートベルト非装着車）

マット固定用ベルトをリア 3 点式シートベルト非装着車に取り付ける場合、(25) ～ (39) の作業を行います。すでにマット固定用ベルトを取り付け済みの場合、この作業は必要ありません。

25. 3 点式シートベルトを固定するためボディに埋め込まれているナットを利用してベルトを取り付けます。プラスドライバーを使い、ルームセパレーターバーの受けを留めているボルトを外します。

26. C ピラー樹脂カバーを上側から外していきます。カバーは、裏側に付いている白いピンで固定されています。カバーを破損させないために、できるだけピンに近いところに力をかけて手前に引きます。
※寒い時期などは樹脂が硬くなっていて破損しやすいので、慎重に作業を進めてください。

27. ピラーカバー中央部付近を固定しているのピンのあたりを左右で持ち手前に引き外していきます。

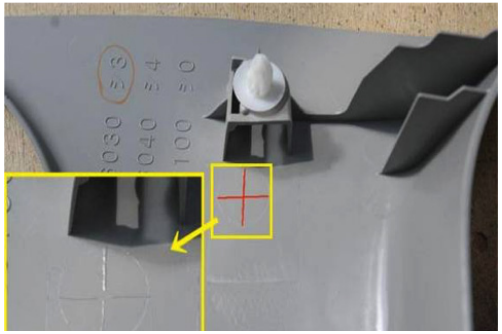


28. ピラーカバーをすべて外す前に、スライドドアのウェザーストリップ（黒いゴム）を手前に引き、外します。

29. ピラーを取り外すために、ピラー下のサイドパネル（グレーもしくはブラックの内張り部分）の上部も外します。手前に引くことで外れます。

30. パネル（内張り）で隠れた部分にも、ピラーカバーに固定している白いピンがあります。カバー・パネルを破損しないように注意しながら、必要に応じてピン抜きなどを使用しながら外します。

31. C ピラーカバーを完全に取り外します。



32. 外したピラーカバーの裏側です。上に付いている白いピンの下に「十字」のマークがあります。この部分に穴をあけます。

33.「＋字」マークを中心に、20 Φホールソーを使い、穴を開けます。

34. C ピラーカバーを外したボディ側のナット部分に、付属のアダプタボルトを取り付けます。

35. ラチェットレンチと、14mm ソケットを使い、アダプタボルトを固定します。

36. アダプタボルトを取り付けた状態です。

37. ホールソーで穴をあけた C ピラーカバーを元に戻します。

38. ピラーカバー裏側の白いピンが、ボディにはまっているかを確認します。プラスドライバーを使い、ルームセパレーターバーの受けを留めているボルトを元に戻して締めます。また、外してあるウェザーストリップ（黒いゴム）も元に戻します。

39. 取り付けたアダプタボルトに、マット固定用ベルトを取り付けます。ベルト先端部の穴位置で、3mm 六角レンチを使い、M6 低頭ボルト 16mm と M6 ワッシャーで固定します。反対側にも同じ方法でベッドマット固定用ベルトを装着して完了です。

下地材の装着方法

ES フロアパネルなどのパネルを取り付けされない場合、(40) ～ (44) の作業を行い、純正フロアカーペットの下に付属の下地材を入れます。すでにパネルを装着されている場合、この作業は必要ありません。

40. ボディのフロアには凹凸があるため、そのままベッドを装着すると、ベッドマット脚が、フロアの凹んでいる部分にあたるため、マットが水平になりません。それを防ぐための下地材を装着します。

41. 荷室のリアエンドの樹脂カバーを外します。ピンで固定されているので、引っ張ることで外れますが、折らないようにご注意ください。

42. フロアカーペットをめくると、ボディフロアの凹凸が見えます。中央の凹んでいる部分に、付属の下地材を入れ込みます。

43. リアエンドの樹脂カバーに干渉しないところまで入れ込みます。

44. リアエンドの樹脂カバーを元に戻します。以上で下地材の装着は完了です。引き続きベッドマットへのフレーム取り付けを行ないます。(5) に戻ります。